

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	学校への芸術家等派遣事業	担当課	文化振興課																		
計画の柱	(1) 市民を対象とした幅広い取り組みと多様な人材の育成																				
取組みの内容	①文化芸術に関する子どもの創造的体験の充実																				
取組み項目	ア.学校などでの子どもたちの文化芸術体験機会の提供																				
事業の目的・概要	<p>【目的】 学校の先生と芸術家、文化芸術コーディネーターが協働しながら、子どもの感性や創造性を育むプログラムを実施し、児童や生徒たちが文化芸術体験を通じて学びあい、表現できる環境を整えていくこと、また、将来の文化芸術活動に繋げることを目的とする。</p> <p>【概要】 地域の芸術家や伝統芸能の保持者を市内の小中学校等に派遣し、学校施設を会場として、児童・生徒を対象に、文化芸術に関する簡単な実技・実演披露や講和・体験等を行う。 年度当初に、市立の小・中学校等に対し希望調査を行い、実施校を募集する。実施校の決定後、文化芸術コーディネーターが各学校に赴き、先生と打ち合わせを行う。学校の希望を踏まえながら、内容に相応しい芸術家を選び、学校の先生や芸術家と打ち合わせを行い、事業内容を調整していく。 本事業は、市が（公財）久留米文化振興会に委託する形で実施しているもので、同団体が文化芸術コーディネーターの取りまとめ等を行う。</p> <p style="text-align: right;">（単位：校）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事業実施校</td> <td>25</td> <td>16</td> <td>32</td> <td>31</td> <td>33</td> <td>20</td> <td>17</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table>			年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	事業実施校	25	16	32	31	33	20	17	25
年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4													
事業実施校	25	16	32	31	33	20	17	25													
令和4年度	事業費（千円）		実績																		
	予算	決算																			
	2,847	2,847	<p>・実施校：25校（小学校25校）</p> <p>・分野：馬頭琴（12校※うち4校は同時開催）、狂言（5校）、箏（2校）、水墨画（3校）、能（2校）、音楽（1校）</p> <p>※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で2月に実施予定の8校が中止となったほか、鑑賞型事業が中心だったが、令和4年度は全ての予定校で実施し、体験型事業も増えた。</p>																		
令和5年度	事業費（千円）		計画																		
	予算	決算																			
	3,731		<p>・実施校：32校で、次の分野で実施予定</p> <p>・分野：馬頭琴（9校※うち4校は同時開催）、狂言（6校）、箏（3校）、水墨画（5校）、能（4校）、音楽（1校）、華道（1校）</p>																		
課題等	<p>年度初めに各学校に対し、実施希望時期・分野について調査した上で、実施スケジュールを決定しているが、例年、馬頭琴を希望する学校が多く、他の分野と比べて偏りが生じている。</p> <p>※実施希望分野：①演劇、②美術（水墨画など）、③伝統音楽（箏など）、④国際民族音楽（馬頭琴など）、⑤音楽、⑥舞踊（日本舞踊、ダンスなど）、⑦伝統芸能（能、狂言、謡曲など）、⑧生活文化（華道など）</p>																				

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	市民文化活動助成（補助金）	担当課	文化振興課
計画の柱	(1) 市民を対象とした幅広い取り組みと多様な人材の育成		
取組みの内容	②あらゆる市民の文化芸術活動への支援		
取組み項目	イ.市の補助金、後援などによる活動支援		
事業の目的・概要	<p>【目的】 久留米市内を活動の拠点とし、市民文化の振興に大きく寄与している事業に対して必要な財政的支援を行い、さらなる市民文化活動の振興を図る。</p> <p>【概要】 各分野において、全市的また市域を越える規模で行われる事業や活動に対して助成する。 (個別の団体、グループ等への補助は行っていない)</p>		
令和4年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	14,635	13,635	<p>12事業に対し、財政的支援を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2事業（R3年度は6事業）が開催中止となった。</p> <p>①久留米市総合美術展 ②久留米ちくご大歌舞伎【中止】 ③謡曲大会 ④子ども劇場【中止】 ⑤芸能大会 ⑥西日本久留米王位戦（将棋） ⑦久留米連合文化会事業 ⑧市民オーケストラ演奏会 ⑨吹奏楽連盟演奏会 ⑩ジュニア青木繁展 ⑪旧4町文化協会の文化事業（4団体） ⑫一般コミュニティ助成（R3年度申請分・1団体）</p>
令和5年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	
	17,135		<p>12事業に対し、財政的支援を行う予定。</p> <p>①久留米市総合美術展 ②久留米ちくご大歌舞伎 ③謡曲大会 ④子ども劇場 ⑤芸能大会 ⑥西日本久留米王位戦（将棋） ⑦久留米連合文化会事業 ⑧市民オーケストラ演奏会 ⑨吹奏楽連盟演奏会 ⑩ジュニア青木繁展 ⑪旧4町文化協会の文化事業（4団体） ⑫一般コミュニティ助成（R4年度申請分・2団体）</p>
課題等	<p>・全市的な規模や内容で行われる団体の活動や事業を対象としており、補助制度が硬直化している。</p> <p>・市の厳しい財政状況の中、補助額の維持や補助の継続、新たな事業への対応が難しくなっている。</p>		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	久留米市芸術奨励賞	担当課	文化振興課																								
計画の柱	(1) 市民を対象とした幅広い取り組みと多様な人材の育成																										
取組みの内容	③ 文化芸術に関わる人材の育成と活用																										
取組み項目	ア.芸術家の発掘・育成支援																										
事業の目的 ・概要	<p>【目的】 市民の文化芸術に対する意欲の高揚を図り、もって市の文化芸術の発展に資する。</p> <p>【概要】 過去において優れた実績があり、また、展覧会および発表会等において優れた成績をおさめた者で、 将来を嘱望される者に対して芸術奨励賞を贈呈する。 ※「将来を嘱望される者」という賞の意義をふまえ、令和4年度より、<u>60歳未満の個人またはメンバーの平均年齢が60歳未満の団体</u>を選考対象とすることとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選考方法 他薦により候補者を募集。提出書類等に基づき、附属機関である「久留米市芸術奨励賞選考委員会」（学識経験者等15名で構成）で選考。 ・受賞者の決定 久留米市芸術奨励賞選考委員会の意見を聴いて、市長が決定する。 ・表彰方法 毎年11月3日（文化の日）、市表彰式にて ・実績 令和5年度までの実績 191名・9団体 ・表彰人数 5名以内 ・賞金の額 10万円 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受賞者 (人)</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td>分野</td> <td>邦楽、声楽</td> <td>声楽、ピアノ</td> <td>文学、華道 書道、演劇 洋舞</td> <td>書道、華道 器楽</td> <td>華道、洋楽 音楽、 舞台芸能、 美術</td> <td>洋楽2、 声楽、彫 刻、書画</td> <td>洋楽3</td> </tr> </tbody> </table>				H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	受賞者 (人)	2	2	5	3	5	5	3	分野	邦楽、声楽	声楽、ピアノ	文学、華道 書道、演劇 洋舞	書道、華道 器楽	華道、洋楽 音楽、 舞台芸能、 美術	洋楽2、 声楽、彫 刻、書画	洋楽3
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5																				
受賞者 (人)	2	2	5	3	5	5	3																				
分野	邦楽、声楽	声楽、ピアノ	文学、華道 書道、演劇 洋舞	書道、華道 器楽	華道、洋楽 音楽、 舞台芸能、 美術	洋楽2、 声楽、彫 刻、書画	洋楽3																				
令和4年度	事業費 (千円)		実績																								
	予算	決算																									
	836	785	7月～8月 芸術奨励賞候補者の募集 9月～10月 受賞者選考 11月3日 表彰式 (洋楽2、声楽、彫刻、書画の5人へ、奨励賞贈呈)																								
令和5年度	事業費 (千円)		計画																								
	予算	決算																									
	835		7月～8月 芸術奨励賞候補者の募集 9月～10月 受賞者選考 11月3日 表彰式 (洋楽の3人へ、奨励賞贈呈)																								
課題等	・若手の応募を増やすための検討、事業の周知の工夫																										

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	青木繁記念大賞ビエンナーレ	担当課	文化振興課
計画の柱	(1) 市民を対象とした幅広い取り組みと多様な人材の育成		
取組みの内容	③ 文化芸術に関わる人材の育成と活用		
取組み項目	ア.芸術家の発掘・育成支援		
事業の目的・概要	<p>【目的・概要】</p> <p>青木繁を顕彰する青木繁記念大賞公募展と西日本地区の新人画家の登竜門として開催実績のある西日本美術展（西日本新聞社主催）が統合し、平成21年に第1回「青木繁記念大賞西日本美術展」を開催。以後、若手作家の飛躍を願う公募展としてビエンナーレ（隔年開催）形式で開催してきた。</p> <p>平成30年度より、事業名及び実行委員会名が変更となり、第6回（平成30年度準備、令和元年度開催）より、40才未満や、2点目以降の出展料を減額し、奨励賞の増枠や「オーディエンス賞」の新設により、作家の創作意欲を奨励し、さらなる芸術の振興を目指して開催した。</p> <p>第7回展は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催が見送りとなっていたが、公募展開始から約30年を経たことを区切りとし、令和4年度の公募、令和5年度の展覧会開催をもって、同展を終了することとなった。</p> <p>○応募資格 日本国内居住者</p> <p>○応募作品 本人が制作した洋画（油彩、水彩、版画など）で公募展で未発表の作品</p> <p>○賞：大賞（賞状・副賞200万円）※第5回より作品の買い取りを中止、100万円減額 石橋財団賞（賞状・副賞100万円）※第5回より作品の買い取りを中止、100万円減額 特別賞・西日本新聞社新人賞（賞状・副賞50万円） 特別賞・テレビ西日本賞（賞状・副賞30万円） 特別賞・わだつみ賞（賞状・副賞20万円） 優秀賞・4点（賞状・副賞10万円）、奨励賞・約10点（賞状・副賞5万円） オーディエンス賞（1点・副賞地元特産品5万円相当）、入選約70点（入選証）</p> <p>○運営主体：青木繁記念大賞ビエンナーレ実行委員会（事務局：久留米文化振興会）</p> <p><参考>・青木繁記念大賞公募展（平成3年から開催、平成19年度まで17回開催） ・西日本美術展（昭和43年から開催、平成19年度まで40回開催）</p>		
令和4年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	3,600	3,600	第7回青木繁記念大賞ビエンナーレの準備（募集等） ・作品募集のチラシ作成・配布（令和4年10月から公開） ・ホームページ更新など
令和5年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	
	4,000		第7回青木繁記念大賞ビエンナーレの開催 ・作品受付：4月1日～30日 ・作品審査：6月 ・展覧会：令和5年7月1日～7月30日（久留米市美術館1階） 全国から318人の443作品が出品され、入賞12点、入選79点が決定 会期中3,976人が来場（前回は3,572人）
課題等	・第7回展終了後の、青木繁の顕彰と美術分野の若手育成の目的を引き継ぐ、新たな事業の検討		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	文化芸術コーディネーター養成	担当課	文化振興課																														
計画の柱	(1) 市民を対象とした幅広い取り組みと多様な人材の育成																																
取組みの内容	③ 文化芸術に関わる人材の育成と活用																																
取組み項目	イ.文化芸術事業の推進を支える人材の育成																																
事業の目的・概要	<p>【目的】 「アウトリーチ」（芸術家派遣事業）や「ワークショップ」（体験型講座）などの活動において、芸術家や指導者と市民や地域をつなぐパイプ役としての人材を「文化芸術コーディネーター」と位置付け、その養成を目的として事業を行う。</p> <p>【概要】 子どもたちの芸術体験事業として行っている「学校への芸術家等派遣事業」において、学校と芸術家をつなぎ、調整していく役割を担う人材としての「文化芸術コーディネーター」を養成するため、養成講座等を実施する。</p> <p style="text-align: right;">（単位：人）</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>養成事業参加者</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>-</td> <td>25</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>芸術家等派遣事業に参加したコーディネーター</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>				H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	養成事業参加者	7	6	-	25	16	17	-	-	15	芸術家等派遣事業に参加したコーディネーター	7	5	5	5	16	17	10	8	6
	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4																								
養成事業参加者	7	6	-	25	16	17	-	-	15																								
芸術家等派遣事業に参加したコーディネーター	7	5	5	5	16	17	10	8	6																								
令和4年度	事業費（千円）		実績																														
	予算	決算																															
	141	141	<p>①コーディネーター説明会及び受講者向けのワークショップ（1/29） コーディネーターの役割や業務内容、年間スケジュールなどについて説明し、実際に芸術家等派遣授業を体験する内容で実施（15人参加）。</p> <p>②箏曲の地『大本山善導寺』見学ツアー（2/25） 賢順の過ごした善導寺（国指定重要文化財）を巡るツアーを実施し、久留米と箏の関係や、箏曲の基本知識を学ぶ機会を設けた。</p> <p>③「学校への芸術家等派遣事業」において、コーディネーター6名が参加。 （令和4年度末コーディネーター登録者：6名）</p>																														
令和5年度	事業費（千円）		計画																														
	予算	決算																															
	141		<p>①コーディネーター養成講座（8/19） 現コーディネーターやコーディネーターを希望する人を対象に、アートマネジメント専門の古賀弥生氏を講師として講座を開催（5人参加）。</p> <p>②「学校への芸術家等派遣事業」において、現コーディネーター5名が参加中。</p>																														
課題等	<p>・「学校への芸術家等派遣事業」で実施希望校数の増加により、コーディネーター数が不足している。</p> <p>・コーディネーターの経験と知識の向上を図る、効果的な養成講座を検討していく必要がある。</p>																																

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	多様な文化芸術活動への積極的な支援	担当	久留米シティプラザ
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造		
取組みの内容	① 文化芸術団体等との連携による多様な文化芸術活動の推進		
取組み項目	イ.多様な文化芸術活動への積極的な支援		
事業の目的・概要	<p>【目的】 文学や演劇、美術や音楽など多様な分野での市民や文化芸術団体などとの連携・協力あるいは活動の支援により、久留米市の文化芸術の裾野を広げ、活性化していく。 多様な文化芸術活動への積極的な支援として、新しい芸術分野も含めた多様な文化芸術活動を積極的に支援していく。</p> <p>【概要】 久留米シティプラザの活動支援</p> <p>(1) 久留米ちくご大歌舞伎 市民が本格的に歌舞伎を演じる舞台であり、複数の地場企業が支援を行う事業。 例年約100名が出演し、近年は小、中、高生など若い世代の出演者も見られる。</p> <p>(2) 久留米市民オーケストラ 久留米青年会議所メンバーの呼びかけにより誕生。シティプラザでは開館当初より、ザ・グランドホールや六角堂広場などでコンサートを開催。</p> <p>(3) 久留米シティプラザ芸能フェスティバル 旧市民会館より開催されている市民発表会であり、市内で文化・芸能活動を行っている団体・サークル約40団体が、「芸能」「フラダンス」の部門に分かれ、平成28年度からシティプラザを舞台として開催。</p>		
令和4年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	2,271	2,271	<ul style="list-style-type: none"> ●久留米シティプラザ芸能フェスティバル2022 5/22開催、入場者数1,224人 (出演者含む) ●久留米市民オーケストラ第34回定期演奏会 5/28開催、入場者数1,056人 ●久留米ちくご大歌舞伎 (新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止)
令和5年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	4,000	-	<ul style="list-style-type: none"> ●みんなのステージ発表会2023 ※昨年度までの芸能フェスティバルの内容をリニューアルし、開催日程、対象者、対象演目を拡充 5/20・21開催、入場者数2,500人 ●久留米市民オーケストラ第35回定期演奏会 5/27開催 ●第50回久留米ちくご大歌舞伎 10/29開催
課題等	・継続的に事業を行っていくにあたり、市民団体との連携をさらに深めていく必要がある		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	音楽によるまちづくり推進事業 (街かど音楽祭、ライブチャレンジ等)		担当	文化振興課
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造			
取組みの内容	② 音楽の力を活かしたまちづくりの推進			
取組み項目	ア.音楽によるまちづくりの推進			
事業の目的・概要	<p>【目的】 音楽の持つ力で人とまちを元気にするため、音楽イベントの実施や音楽アーティストの育成・支援の取り組みを展開し、まちに賑わいを創出するとともに、市の魅力向上につなげる。</p> <p>【概要】</p> <p>①くるめライブチャレンジ事業 (人材発掘・支援事業) 音楽分野の人材発掘・支援と中心市街地活性化のため、夢を抱くアマチュア演奏家の観覧無料ライブを年4回程度開催。年間チャンピオンを決定する大会も開催。 ※【参考】くるめ街かど音楽祭事業 (H25年度～H30年度の6回実施、令和1～3年度は中止) 市内複数会場で開催する市民参加型音楽イベント。令和4年度にくるめライブチャレンジへ融合。</p> <p>②邦楽振興事業 箏曲発祥の地「善導寺」で近代箏曲の祖・諸田賢順を顕彰し、邦楽の魅力を伝えることで、邦楽に親しむ市民の裾野を広げる。</p> <p>③久留米ゆかりの音楽事業への支援 令和元年度に、久留米でベートーベンの「第九」が演奏されて100年目となることを記念して、市民合唱団による第九演奏会を開催。令和2～4年度はコロナの影響で中止。</p>			
令和4年度	事業費 (千円)		実績	
	予算	決算		
	9,259	9,059	<p>①くるめライブチャレンジ : シティプラザ (Cボックス、久留米座、グランドホール) を活用し、新たな3つのステップを設けて実施した。 【STEP I】ジュニアミュージックレクチャー 久留米市近郊の中高生を対象としたテクニカルワークショップを2回 (10/29、11/26) 開催し、市内6校の高校から22名の学生が参加した。 【STEP II】くるめライブチャレンジ 公募で集まった50組のアマチュア演奏家のライブを4回 (8/20、9/19、10/9、12/4) 開催し、ベストパフォーマー大会を開催 (2/19) した。 【STEP III】くるめライブチャレンジChase your Dream 3/19に「久留米シティプラザが音楽に溢れる1日」として、グランドホールでメジャーミュージシャン (渡辺美里) を招聘したコンサート、Cボックスでベストパフォーマーライブ、六角堂広場でアコースティックコンサート、スタジオでミニ演奏会 & 楽器体験ワークショップを開催した。</p> <p>②邦楽振興事業 : 5回記念として善導寺ツアーを初めて実施した。 ・2/25箏曲発祥の地・大本山善導寺ツアー (参加者25名)、お箏の演奏体験 & 公開リハーサル (参加者24名) ・2/26箏曲のふるさと久留米 第5回記念演奏会 (石橋文化ホール/来場者430名)</p> <p>③久留米第九を歌う会演奏会 : 中止 (※コロナの影響のため)</p>	
令和5年度	事業費 (千円)		計画	
	予算	決算		
	12,285		<p>①令和4年度の「くるめライブチャレンジ (ステップI～III)」を見直し、次の3事業に分けて実施中。</p> <p>●ジュニア★ミュージックレクチャー (若手ミュージシャン育成プロジェクト) 中高生を対象に、プロの講師によるレクチャー (ヴォーカル、ギター、ドラムなど) を実施。6月～11月に5回開催。58名が参加。</p> <p>●くるめライブチャレンジ (若手ミュージシャン育成プロジェクト) 音楽分野の人材発掘のために、一般公募型のライブコンテストを開催。 9/30、10/15、11/11 : 予選ステージ、2/24 : ファイナルステージ。 10/15、11/11には市内ミュージシャンによるフリーライブも開催。</p> <p>●KURUME MUSIC FES.2024 (観覧無料のライブイベント) 3/17 市内の東町公園でライブイベントを開催予定。地元アーティストや公募ミュージシャンが出演予定。</p> <p>②邦楽振興事業 ・10/1 箏曲発祥の地・大本山善導寺ツアー・小演奏会 (参加者52名) ・3/23 邦楽演奏会「春を彩る邦楽の調べ」 (石橋文化ホール) 予定</p> <p>③久留米第九を歌う会演奏会 12/3 シティプラザ・グランドホールで4年ぶりに開催 (来場者約800人)</p>	
課題等	アフターコロナにおける音楽イベントのあり方の検討、効果的な広報など。			

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	青木繁旧居の管理・運営	担当	文化振興課
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造		
取組みの内容	③文化財や伝統文化の保存・継承とその活用による郷土愛の醸成及び地域の活性化		
取組み項目	ア.文化財などの保存・継承		
事業の目的・概要	<p>【趣 旨】 久留米が生んだ近代洋画家・青木繁が多感な少年期を過ごした建物として、美術史的、文化的価値の高い青木繁旧居を、かけがえのない地域の財産として保存するとともに、市の文化振興と地域振興のために有効に活用する。</p> <p>平成18年4月から、地域住民で構成される任意団体「青木繁旧居保存会」を指定管理者とし、同団体により主体的な管理運営がなされている。</p> <p>【概 要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全面的な復元整備を行い、平成15年3月に「青木繁旧居」として開館。 ・平成18年4月から、地域住民で構成される任意団体「青木繁旧居保存会」を指定管理者として、同団体による主体的な管理運営へ移行。 ・青木繁旧居保存会による、施設の魅力向上のための取組みや、来館者に対する丁寧な説明・対応により、市内外からのリピーターが増えている。 <p>指定管理者：青木繁旧居保存会（久留米市荘島町431番地） ※会員数12名（R5.4.1現在）</p> <p>指定期間：令和5年4月1日から令和8年3月31日まで（第6期・3年）</p>		
令和4年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	2,552	2,552	指定管理者である青木繁旧居保存会により、施設の管理、来館者への対応等を行った。 (1) 久留米市美術館の企画展「生誕140年ふたつの旅 青木繁×坂本繁二郎」の連携企画を実施 ・10/29～1/22 美術館、青木繁旧居、坂本繁二郎生家でスタンプラリーを実施（参加者264人） ・11/13 ピアノとヴァイオリンのコンサート（参加者40人） (2) 青木繁旧居での自主事業を実施 ・10/30 青木繁生誕140年記念 お茶を楽しむ会（参加者141人） ・3/25 サイエンスカフェ（九州大学との連携企画）（参加者20人）
令和5年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	
	2,702		指定管理者である青木繁旧居保存会により、施設の管理、来館者への対応等を行うほか、青木繁旧居での自主事業を実施する。 ・11/19 お茶を楽しむ会（参加者数：117人） ・3月頃（青木繁の命日・3月25日に近い時期）に、華道展
課題等			

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	歴史的建造物保存整備事業	担当課	文化財保護課
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造		
取組みの内容	③文化財や伝統文化の保存・継承とその活用による郷土愛の醸成及び地域の活性化		
取組み項目	ア.文化財などの保存・継承		
事業の目的 ・概要	<p>【目的】 市内に残る歴史的価値のある建造物を調査・整備し、保存を図るとともに、市民が身近な場所で久留米市が歩んできた歴史を感じながら暮らすことができるまちづくりへ活用していく。</p> <p>【概要】 ・市内に残る建造物の歴史的価値及び保存修理の必要性について調査を実施。 ・文化財に指定された建造物の経年劣化による腐朽や自然災害による被害の修理・復元を行うとともに、所有者の協力を得て保存と活用を図る。</p>		
令和4年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	2,535	2,527	<p>・草野町に所在する須佐能袁神社について詳細調査を実施し、歴史的価値を明らかにする作業を進めた。令和6年度まで調査を継続し、近代和風建築の代表例として重要文化財指定を目指す。</p> <p>・市内の神社建築の悉皆調査を通して、今後、市内の神社建築を活用した事業の立案を図る。また、市内に残る歴史的建造物の活用に向けた悉皆調査を行い、国の登録文化財への申請等を検討した。その中で、令和4年度に申請した篠山町の篠山神社が国登録有形文化財（建造物）となった。</p> <p>・経年劣化により毀損した大善寺町の大善寺旧庫裏（市指定）の劣化状況と修理方針を作成するために詳細調査を実施した。</p>
令和5年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	2,561		<p>・前年度に引き続き、草野町に所在する須佐能袁神社について詳細調査を実施する。合わせて類例となる近代の神社建築の調査も進め、須佐能袁神社を近代和風建築の代表例として重要文化財指定を目指す。</p> <p>・市内に残る歴史的建造物の活用に向けた取組として、日吉町に所在する旧國武合名会関連建造物を国登録文化財へ申請、11月に答申があった。</p> <p>・経年劣化により雨漏りが生じ、屋根の小屋組や漆喰壁が毀損している大善寺町の大善寺旧庫裏（市指定）について、保存修理を実施し、12月に完了した。</p>
課題等	<p>・調査及び文化財指定・登録に際し、所有者の同意・協力が必要である。</p> <p>・建造物の保存修理は事業費が大きく、かつ長期の事業期間が必要であり、国・県の補助金をはじめとする財源の継続的な確保が必要となる。</p>		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	坂本繁二郎生家活用事業	担当課	文化財保護課
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造		
取組みの内容	③文化財や伝統文化の保存・継承とその活用による郷土愛の醸成及び地域の活性化		
取組み項目	ア.文化財などの保存・継承		
事業の目的・概要	<p>【目的】 市内に残る唯一の武家屋敷として、市の有形文化財（建造物）に指定されている坂本繁二郎生家を保存・活用し、後世に伝えていく。</p> <p>【概要】 坂本繁二郎生家は、久留米市出身の洋画家である坂本繁二郎が20歳まで暮らした家屋を復原工事したものである。施設公開や貸室利用に加え、年間を通じた体験講座などを開催することで、青木繁旧居などとともに地域魅力のスポットとして、「芸術の街久留米」をPRする。 併せて、JR久留米駅周辺の「歴史のプロムナード」を重要な地域資源として地域と連携した活用を行う。</p>		
令和4年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	322	10	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大防止策として、予定していた体験イベントについては前年度同様にすべて中止した。一方で、貸室については徐々に再開し、一定の利用が見られた。 ・平成22年度の復元工事から10年以上が経過し、劣化も見られたことから、県の補助を受けて令和3年度に外壁塗装、令和4年度に茅葺屋根差茅改修を行った。 ・R4年度入館者 4,268名 R4年度貸室利用 25件
令和5年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	322		<ul style="list-style-type: none"> ・体験イベントについては保存会と協議し、感染対策に万全を期しながら再開した。7月のこども茶会、9月の落語寄席や、12月の餅つきを実施した。 ・JR久留米駅の水天宮口周辺の歴史文化遺産をめぐる「京隈かいわいめぐり」（2月）など、地域との協働による取り組みも行う。 ・7月30日 こども茶会 参加者 16名 ・9月30日 中秋落語寄席 入場者数 68名 ・12月16日 餅つき大会 参加者 29名
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通して安定した集客を確保するために、教育機関や観光事業者などへPRを強化し、団体の利用促進を図る必要がある。 ・貸室利用の促進を図り、恒常的な利用申込の確保に努める。 ・展示品の追加や入れ替えなどリピーターが多くなるような工夫が必要。 		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	有馬記念館活用事業	担当課	文化財保護課
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造		
取組みの内容	③文化財や伝統文化の保存・継承とその活用による郷土愛の醸成及び地域の活性化		
取組み項目	ア.文化財などの保存・継承		
事業の目的・概要	<p>【目的】 久留米の代表的史跡である久留米城跡内に所在する有馬記念館で、久留米市や有馬家の歴史・文化を発信することで、地域の魅力向上に努める。</p> <p>【概要】 平成22年11月にリニューアルオープンした有馬記念館で開催される特別展・企画展等の開催経費と施設の維持管理費を補助する。 なお、施設の運営は、(公財)有馬記念館保存会が行っている。</p>		
令和4年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	10,172	8,472	<p>久留米に関わる歴史・文化の公開を主目的とした企画展を1回と平常展(4回の展示替え)を開催。</p> <p>・平常展「大名有馬家と久留米城下町」 ：大名有馬家の格式や徳川家との繋がり、江戸時代に歴代藩主が整備した久留米城下町での人々の暮らしぶりなど、年間を通じて紹介。</p> <p>・企画展「久留米藩と村の人々」 ：久留米藩と村、享保・宝暦の一揆、人々の暮らしについて紹介。</p> <p>令和4年度入館者 3,273人</p>
令和5年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	9,787		<p>久留米に関わる歴史・文化の公開を主目的とした企画展を1回と平常展(4回の展示替え)を開催予定。</p> <p>・平常展「大名有馬家と久留米城下町」 ：大名有馬家の格式や徳川家との繋がり、江戸時代に歴代藩主が整備した久留米城下町での人々の暮らしぶりなど、年間を通じて紹介。</p> <p>・企画展「故事人物を訪ねる」 ：久留米藩御用絵師である三谷家の関連資料から、故事人物画を中心に紹介。</p>
課題等	<p>・観光・国際課、「まち旅」や「Rウォーク」等のイベント主催者、マスコミ等と連携し、PR活動を強化することにより、集客の促進を図る。</p> <p>・寄託資料の保存環境と展示環境を充実させるための設備の整備を進める。</p>		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	歴史ルートづくり事業	担当課	文化財保護課
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造		
取組みの内容	③文化財や伝統文化の保存・継承とその活用による郷土愛の醸成及び地域の活性化		
取組み項目	ウ.文化財を活用した地域の魅力向上		
事業の目的 ・概要	<p>【目的】 久留米のシンボルであり豊かな歴史・文化・自然を育む高良山と、地域資源豊富な耳納北麓エリアなど、市内の歴史遺産が集中する地域を一体的な地域資源として捉え、情報発信、地域活動の醸成、拠点整備等を行うことで地域の魅力向上を図り、市を代表する魅力的なエリアとして、交流人口の増加を目指す。</p> <p>【概要】 関連する歴史遺産を集積・整理した「歴史のまち久留米 ストーリーシート」の作成、情報発信などによる「歴史のまち」としてのブランディング、歴史的なストーリーに基づくイベントの実施、拠点整備や拠点間をつなぐ行程の環境整備を行う。</p>		
令和4年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	3,715	1,399	<ul style="list-style-type: none"> ・高良山総合調査・梅林寺調査等を継続するとともに、高良山総合調査によって詳細を確認したことにより、国重要文化財指定について国の文化審議会より答申を受けた高良大社文書を中心に、高良山の歴史遺産の保存と活用をテーマとしたシンポジウム「歴史をつなぐ高良山の文化財」を久留米大学御井キャンパスで開催した。 ・国の認定を受けた久留米市文化財保存活用地域計画に基づく「筑後川遺産制度」の運用を開始し、城島と田主丸の二つの市民団体から申請を受けた歴史ストーリー2件を筑後川遺産に登録した。その他、ストーリーシートNo.9の発行も行った。
令和5年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	4,062		<ul style="list-style-type: none"> ・高良山総合調査や梅林寺歴史遺産調査等、市内に所在する歴史資料の調査を継続するとともに、高良大社記録類や福聚寺所蔵歴史資料の曝涼、国重要文化財「高良大社文書（百四十六通）」の公開など、文化財の保存活用に取り組んだ。 ・文化財保存活用のマスタープランである「久留米市文化財保存活用地域計画」を推進するため、地域計画協議会を開催するとともに、筑後川遺産関連のイベントやストーリーシートの発行等を情報発信事業として実施する。 ・市民を対象としたワークショップを開催し広く周知を図るとともに、筑後川遺産登録への取組を進める。
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域との連携や交流人口増加のための取り組み。 ・「歴史のまち久留米」のブランディングの計画的な戦略。（基礎調査の推進とストーリーの構成、情報発信） ・筑後川遺産の登録へ向けた情報発信と申請団体との協働。 		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	文化芸術事業を活用した賑わい創出事業		担当課	久留米シティプラザ
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造			
取組みの内容	④様々な政策分野との連携			
取組み項目	ア 文化芸術事業と観光・まちづくり産業などとの連携・協働			
事業の目的・概要	<p>【目的】 久留米シティプラザを中心とした中心商店街で開催される久留米たまがる大道芸や、久留米商工会議所等が中心となって開催しているくるめまちゼミ、楽衆国まつりなどと連携した事業を実施することで、あらゆる市民に文化芸術に触れる機会を提供するとともに、中心市街地に賑わいを創出する。</p> <p>【概要】 ・市民に大道芸が持つ日常を超えた楽しさや醍醐味を提供するとともに、中心市街地の新たな活力と賑わいを創出するため、商店街や広場、公園などの街なかを舞台に、市民、商店街、市などが一体となって大道芸フェスティバルを開催する。 ・久留米商工会議所が主催する商店街の店舗と連携した街なか活性化事業まちゼミにおいて、商店街連携事業として、施設見学会等を実施する。 ・市や久留米商工会議所等で作る「オール久留米で盛り上げ隊実行委員会」が主催する街なかイベント「くるめ楽衆国まつり」において、関連企画を開催する。</p>			
令和4年度	事業費 (千円)		実績	
	予算	決算		
	6,940	5,750	<p>●久留米たまがる大道芸2022 11/19～20開催、来場者数21,000人 固定会場：久留米シティプラザ六角堂広場、西鉄久留米駅、東町公園（東町公園は20日のみ） ※固定会場の他、大道芸人が商店街を練り歩くパレードを実施</p> <p>●まちゼミ 1/19開催、参加者数11人</p> <p>●くるめ楽衆国まつり（中止）</p>	
令和5年度	事業費 (千円)		計画	
	予算	決算		
	8,289	-	<p>●久留米たまがる大道芸2023 11/18～19開催、来場者数20,000人 固定会場：久留米シティプラザ六角堂広場、西鉄久留米駅、東町公園 ※固定会場の他、大道芸人が商店街を練り歩くパレードを実施</p> <p>●ランチタイムコンサート 9/28、10/12、11/2開催、来場者数1,700人 会場：六角堂広場</p> <p>●まちゼミ（大雨のため、開催中止）</p> <p>●くるめ楽衆国まつり 10/7にザ・グランドホールで映画上映会を開催、来場者数743人</p>	
課題等	・市内外からの来場者を中心市街地における賑わいに繋げて行くためには、商店街や各関係団体等とのさらなる連携強化を図る必要がある。			

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	中学校美術教育振興事業	担当課	学校教育課																											
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造																													
取組みの内容	④ 様々な政策分野との連携																													
取組み項目	イ.文化事業と教育・福祉との連携・協働																													
事業の目的・概要	<p>【目的】 市内中学生の美術への興味・関心を高め、豊かな心と郷土を愛する心を育むことを目的として、久留米市美術館等で行われる企画展の鑑賞授業を実施する。</p> <p>【概要】 市立中学校（17校）の第1学年の全生徒が、久留米市美術館等で行われる企画展を鑑賞するための、送迎バスの借上げを行う。事業の実施に当たっては、生徒に対するアンケートや感想等を学校だより等で紹介し、効果の波及を図る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">H27</td> <td style="text-align: center;">H28</td> <td style="text-align: center;">H29</td> <td style="text-align: center;">H30</td> <td style="text-align: center;">R1</td> <td style="text-align: center;">R2</td> <td style="text-align: center;">R3</td> <td style="text-align: center;">R4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">実施校数（校）</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">17</td> <td style="text-align: center;">16</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">17</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">参加生徒数（人）</td> <td style="text-align: center;">2,641</td> <td style="text-align: center;">2,394</td> <td style="text-align: center;">2,484</td> <td style="text-align: center;">2,286</td> <td style="text-align: center;">2,437</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2,193</td> <td style="text-align: center;">2,360</td> </tr> </table> <p>※令和元年度は、1校（宮ノ陣中）のみ、当日の豪雨により中止 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業を中止 ※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため2校の実施を延期後、中止</p>				H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	実施校数（校）	17	17	17	17	16	0	15	17	参加生徒数（人）	2,641	2,394	2,484	2,286	2,437	0	2,193	2,360
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4																						
実施校数（校）	17	17	17	17	16	0	15	17																						
参加生徒数（人）	2,641	2,394	2,484	2,286	2,437	0	2,193	2,360																						
令和4年度	事業費（千円）		実績																											
	予算	決算																												
	2,768	1,915	<p>○市内17校中、17校で実施 2,360名参加</p> <p>○鑑賞内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生誕140年 ふたつの旅 青木繁×坂本繁二郎」 ・「リアル（写真）のゆくえ 現代の作家たち 生きること、写すこと」 <p>○成果（各学校からの事業報告より、主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・久留米市にゆかりのある、青木繁の「海の幸」や坂本繁二郎の「放牧三馬」などの代表的な作品を実際に見ることができたのは、非常に有意義であり、子どもたちの美術に対する関心の高揚につなげることができた。 ・事前に総合的な学習の時間の「くろめ学」において、青木繁、坂本繁二郎、石橋正二郎に関する学習を設定した。展示会の鑑賞と石橋正二郎記念館の見学により、三者の偉人のつながりについて理解を深めることができた。 ・石橋正二郎記念館を見学し、石橋正二郎の偉業や久留米市に対する郷土愛に満ちた貢献を知ることができ、生徒の地域や郷土を大切にすることの育成につなげることができた。 																											
令和5年度	事業費（千円）		計画																											
	予算	決算																												
	2,646		昨年同様、市内17校で実施中（令和5年12月までに14校で実施）。																											
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策を徹底した事業の実施、および、感染状況に応じた日程変更 ・久留米市美術館の展示期間に応じた、各学校の日程調整。 ・バスの運転士に関する規制により、借り上げ代金が高騰し、バス確保が困難となってきている。 ・確実にバスを手配するためには、バス会社の繁忙期を避けてバス借上げを行う必要がある。 																													

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	(公財) 久留米文化振興会事業 (補助金)		担当課	文化振興課
計画の柱	(2) 久留米ならではの文化芸術資源を活かした都市魅力の創造			
取組みの内容	⑤公益財団法人久留米文化振興会の組織強化への支援			
取組み項目	ア.公益財団法人久留米文化振興会の施策展開への支援			
事業の目的・概要	<p>【目的・概要】 福岡県民、特に久留米市民の学術、文化の発展と公共の福祉の増進に寄与することを目的として、石橋文化センターの管理運営を行う任意団体として発足した久留米文化振興会に対し、財政支援を行い、安定的な財団運営と事業実施に努めている。</p> <p>久留米文化振興会は、石橋文化センター諸施設及び管理委託を受けた諸施設の管理運営を行い、市と「車の両輪」となって文化行政を進めている。</p> <p>【団体事業概要】 久留米市より無償貸与及び管理委託を受けた石橋文化センター諸施設の管理運営を通して、芸術文化の振興と地域文化の活性化を図る。地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与する事業を展開する。</p> <p><主な事業内容></p> <p>(1)施設管理運営 ①石橋文化センター（文化ホール・文化会館・楽水亭・庭園・共同ホール、②高牟礼会館</p> <p>(2)施設管理委託（指定管理） ①久留米市美術館、②野中生涯学習センター、 ③市民交流センター(市庁舎くろみホール・会議室)</p> <p>(3)芸術文化振興及び地域文化活性化のためのソフト事業 ①ホール等での公演事業 ②文化センター園内イベント（パラフェア、野外コンサート等）</p> <p>(4)収益事業 ①園内喫茶・売店「楽水亭」の運営、②駐車場の管理運営</p>			
令和4年度	事業費 (千円)		実績	
	予算	決算		
	312,790	295,355	補助金額295,355千円（運営費288,130、施設整備費7,225）	
令和5年度	事業費 (千円)		計画	
	予算	決算		
	358,997		補助金額358,997千円（運営費300,152、施設整備費58,845）	
課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナの影響で落ち込んだ入園者、各施設利用者の回復 ・年々厳しさを増す非正規職員を含む人材確保への対策 ・文化センター施設等の老朽化による維持管理費の増加 			

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	久留米シティプラザ 自主事業	担当課	久留米シティプラザ
計画の柱	(3) 文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	① 久留米シティプラザを創造・発信の拠点とする文化芸術事業の推進		
取組み項目	ア.上質で多彩な鑑賞事業 の実施		
事業の目的・概要	<p>【目的】 久留米シティプラザを活用し、市民に上質で多様な文化芸術を鑑賞する機会や市民が自ら活動し発表する場を提供するとともに、市民のさまざまな文化芸術活動や新たな文化芸術の創造を促進していく。</p> <p>【概要】 市民が多様なジャンルの文化芸術に触れることができる事業をはじめ、次代を担う子どもたちの豊かな感性と心を育むための事業、文化芸術の裾野を広げるアウトリーチ事業や人材育成事業などを行う。また、地域の独自性を活かした事業を展開することで、久留米の歴史ある伝統文化や地域資源の再発見、次世代への継承につなげるとともに、新たな久留米ならではの文化を創造・発信する。</p>		
令和4年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	51,443	30,900	<p>令和4年度の自主事業は、計画していた通りの実施ができた。また、「こどものあそびば」や演劇作品鑑賞とアーティスト等との対話を組み合わせたプログラム、観劇サポート公演の実施など、これまでにない新たな取り組みを行った。</p> <p>【主な実施事業】 鑑賞事業：演劇「妖精の問題デラックス」、「Pamilya」、「桜姫東文章」 公開収録：「NHK 今夜も生でさだまさし」、「NHK 新・BS日本のうた」 子ども事業：体験「劇場のおしごとたいけん」、「こどものあそびば」 ダンス「ククノチ テクテク マナツノ ポウケン」 久留米の文化事業 ：「みんなのステージ発表会」（旧芸能フェスティバル） 「雅楽レクチャーコンサート」 「雅楽 源氏物語」 「ジュニアダンスステージin六角堂広場」 普及啓発事業：「知る/みる/考える 私たちの劇場シリーズ」 「柳家花緑 出前DEござる落語会」 「ユースプログラム 新しい演劇鑑賞教室」</p>
令和5年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	48,535	—	<p>「多様かつ上質な文化芸術の鑑賞事業」「久留米ならではの演劇・伝統文化事業」「子どもの創造力・感性を高める事業」を柱に、年間を通じ様々な分野の主催事業を展開する。</p> <p>【主な実施予定事業】 鑑賞事業：狂言「野村万作・萬斎・裕基 久留米で出会う狂言の会」 ：音楽「ジャズピアニスト田中菜緒子×N響メンバーによる シューベルト「鱒」」 子ども事業：演劇「フクローじいさんとベルコちゃん」、「さいごの一つ前」 鑑賞「tupera tuperaえほんライブ」 体験「こどものあそびば」、 「はじめての演劇体験ワークショップ」 久留米の文化事業 ：「みんなのステージ発表会」（旧芸能フェスティバル）※再掲 普及啓発事業：「知る/みる/考える 私たちの劇場シリーズ」 「ユースプログラム 新しい演劇鑑賞教室」</p>
課題等	<p>・様々な世代のニーズに応えるため、自主事業と提携事業のバランスを図りながら、ラインナップの充実を図る必要がある。</p> <p>・子どもの感性を高めるための、キッズプログラムの充実を図っていくことが必要である。</p>		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	久留米シティプラザ 提携事業	担当課	久留米シティプラザ
計画の柱	(3) 文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	① 久留米シティプラザを創造・発信の拠点とする文化芸術事業の推進		
取組み項目	ア.上質で多彩な鑑賞事業の実施		
事業の目的・概要	<p>【目的】 久留米シティプラザを活用し、市民に上質で多様な文化芸術を鑑賞する機会や市民が自ら活動し発表する場を提供するとともに、市民のさまざまな文化芸術活動や新たな文化芸術の創造を促進していく。</p> <p>【概要】 施設の事業実施方針に合致する外部団体等が企画・制作する事業を提携事業として位置づけ、市民団体などと連携した取組みを行うことにより、自主的な文化芸術活動や賑わい創出活動を支援・促進していくとともに、久留米シティプラザの事業内容の充実を図る。</p>		
令和4年度	予算	決算	実績
	-	-	鑑賞事業：演劇「毒薬と老嬢」、「フォーエヴァープラット」、 「てなもんや三文オペラ」、「泉ピン子のすぐ死ぬんだから」 ：ミュージカル「ブラッド・ブラザーズ」、「DOROTHY～オズの魔法使い～」 ：落語「久留米花緑会」 ：音楽「兵庫芸術文化センター管弦楽団ニューイヤーコンサート」 「辻井伸行 日本ツアー」、「渡辺貞夫カルテット」 など
令和5年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	鑑賞事業：演劇「垣根の魔女」、「終わった人」、「リムジン」 ：ミュージカル「ファインディングネバーランド」、 ：落語「久留米花緑会」 など
課題等	・市民の多様なニーズに対応できる多種多様な事業を今後も継続して計画し、新規ファンの獲得、固定ファンの増加を図る必要がある。		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	久留米シティプラザ 魅力発信事業	担当課	久留米シティプラザ
計画の柱	(3) 文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	① 久留米シティプラザを創造・発信の拠点とする文化芸術事業の推進		
取組み項目	ウ積極的な広報活動の実施や施設の利便性の向上		
事業の目的・概要	<p>【目的】 久留米シティプラザのさらなる情報発信やサービスの向上等により、施設利用の促進へとつなげ、シティプラザをこれまで以上に活用してもらうことで、市民のさまざまな文化芸術活動や新たな文化芸術の創造を促進していく。</p> <p>【概要】 SNSをはじめとした様々な媒体による情報発信や、マスコミ等への働きかけによる広報活動に積極的に取り組むとともに、施設利用者等への調査や企業訪問等を通して、また、館内に設置した「石橋文化センター情報サテライト」を活用した情報発信やチケット販売、空いている会議室の学習室としての市民開放、インターネットを活用した施設予約システムの検討など、施設利用に係る利便性の向上を図りながら、市民等による久留米シティプラザの積極的な利用促進に努める。</p> <p>○令和4年度来場者数（令和3年度） 350,290人（163,428人）</p>		
令和4年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	8,587	7,267	<p>シティプラザ情報誌の発行(毎月)や各SNSでの発信に加え、TVやラジオ、新聞、タウン情報誌等へのパブリシティ活動を強化し、公演情報やチケット発売情報、施設の利活用方法等について積極的な情報発信を行った。</p> <p>また、施設の利用促進やチケット販売促進のため、コロナの感染状況等を見極めながら、企業や団体、個人等への営業活動を再開。</p> <p>加えて、JR久留米駅からシティプラザまでのアクセス動画を作成し、施設の利便性の向上、利用者満足度の向上に努めた。</p>
令和5年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	7,428	-	<p>引き続きパブリシティ活動を積極的に展開し、効果的な情報発信に努めるとともに、利用者の立場に立った親切・丁寧なサービスの提供を行い、リピーターや新規利用者の確保を図ることで、来場者数・稼働率の回復を図る。</p> <p>また、公式ホームページや各SNSの活用を更に強化することで、シティプラザ情報誌の発行回数の見直し等による経費削減を図り、効率的な情報発信に努める。</p>
課題等	様々な利用方法を積極的に広報し、各施設の稼働率を向上させていく必要がある。		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	美術館事業（コレクション形成）	担当課	文化振興課
計画の柱	（3）文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	② 魅力あふれる美術館づくり		
取組み項目	ア.郷土の歴史をふまえた特徴あるコレクション形成		
事業の目的 ・概要	<p>【目的】 美術館の運営が、平成28年10月に（公財）石橋財団から市へ移行したことに伴い、新たな美術館としてのビジョン・コンセプトに基づく円滑な管理体制を構築し、石橋文化センター全体のミュージアム化などにより、市民により親しんでもらえる美術館を目指し運営管理していく。</p> <p>【概要】 近代以降、すぐれた洋画家たちを輩出してきた久留米の歴史と、同じく多くの洋画家たちを生んだ九州全域に目を向け、久留米ゆかりの作家を核とした九州洋画の体系的コレクションを形成する。収集に際しては、「久留米市美術品収集委員会」（美術関係の学識経験者5名で構成）の意見を聴きながら進めていく。 美術品及び美術に関する資料を取得するための資金を積み立てるため、平成27年1月に「美術振興基金」を設置し、広く寄付を募っている。</p> <p>【コレクション収集実績】 ・173点（購入：126点、寄贈：47点） 令和5年3月末現在</p>		
令和4年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	66,802	27,340	<p>・収集委員会：1回開催（1月） 絵画19（購入17点、寄贈2点）の収集決定 絵画17点購入額 ：27,275千円</p> <p>※美術振興基金残高 ：361,661千円 ※令和5年3月末 ※美術振興基金への寄附 ：25,534千円（個人3件）</p>
令和5年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	80,341		<p>・収集委員会：1回開催（1月） 絵画（購入4点、寄贈47点）の収集予定</p>
課題等	・美術振興基金への寄附の呼びかけ、PRの検討		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	美術館事業（展覧会、教育普及事業）	担当課	文化振興課
計画の柱	（３）文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	② 魅力あふれる美術館づくり		
取組み項目	イ.魅力ある展覧会や教育 普及活動の展開		
事業の目的・概要	<p>【目的】 石橋美術館の運営が、平成28年10月に（公財）石橋財団から市へ移行したことに伴い、新たな美術館としてのビジョン・コンセプトに基づく円滑な管理体制を構築し、石橋文化センター 全体のミュージアム化などにより、市民により親しんでもらえる美術館・石橋正二郎記念館として運営管理していく。</p> <p>【概要】 恵まれた立地環境を活かし、石橋文化センター全体をひとつのミュージアムと捉え、美術館事業と園内イベントなどと連携した事業を展開する。</p> <p>指定管理者：（公財）久留米文化振興会 ※指定期間（第2期：令和3年4月～令和8年3月31日まで）</p>		
令和4年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	178,468	178,468	○展覧会（本館2階） ※トラックヤード新設工事のため、R3.12/13～R4.10/28の間、本館を休館 ① 「生誕140年 ふたつの旅 青木繁×坂本繁二郎」10/29～1/22 ② 「リアル（写真）のゆくえ」2/11～4/2 ○教育普及 美術講座等の開催、ワークシートの配布 ○石橋正二郎記念館の運営 本館休館中に「ペリかんくらぶ」と題したイベントを開催。 石橋財団コレクションの展示替など
令和5年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	
	219,235		○展覧会（本館2階） ① 「コレクションing4 野見山暁治の見た100年」4/22～6/4 ② 「アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」6/17～8/17 ③ 「顕神の夢」8/26～10/15 ④ 「芥川龍之介と美の世界」10/28～1/28 ※「ちくごist 尾花成春」は工事休館のため来年度に延期 ○教育普及 美術講座、ワークショップ等の開催 ○石橋正二郎記念館の運営 石橋財団コレクションの展示替など
課題等	・展覧会および石橋正二郎記念館への入館者を増やすための工夫		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	美術館事業（石橋文化センター全体のミュージアム化）	担当課	文化振興課
計画の柱	（３）文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	② 魅力あふれる美術館づくり		
取組み項目	ウ.石橋文化センターをひとつのミュージアムと捉えた活動		
事業の目的・概要	<p>【目的】 美術館の運営が、平成28年10月に（公財）石橋財団から市へ移行したことに伴い、新たな美術館としてのビジョン・コンセプトに基づく円滑な管理体制を構築し、石橋文化センター全体のミュージアム化などにより、市民により親しんでもらえる美術館を目指す。</p> <p>【概要】 恵まれた立地環境を活かし、石橋文化センター全体をひとつのミュージアムと捉え、美術館事業と園内イベントなどと連携した事業を展開する。</p>		
令和4年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	-	-	<p>○ミュージアムコンサート 地域で活動する演奏家を支援するとともに、優れた演奏を気軽に楽しめる機会を市民に提供するコンサートを開催。コンサートチケットで展覧会入館料が無料。4/26、6/19、7/13、9/25、1/15、3/5に開催。 日本庭園50周年を記念した水上ステージコンサートを11/19、11/20にて開催。</p> <p>○ミュージアム ハロウィン 親子で夜の石橋文化センターを楽しむ新規事業として、仮装イベント、マルシェ、ライトアップ等を開催。（10/8～10/30）</p> <p>○石橋文化センターアートフェスティバル 地元の子どもたちやアーティスト、学生が石橋文化センターの空間や自然、歴史や文化に着想を得て作品を制作。バラや紅葉が彩る秋の園内で展示しライトアップを行った。（10/29～11/20）</p> <p>○日本庭園完成50周年記念 水上ステージコンサート 特設の水上ステージでコンサートを開催。（11/19、20）11/19は美術館延長開館、入館料無料。</p> <p>○ミュージアム クリスマス クリスマスの時期に、園内をライトアップ。クリスマスにちなんだワークショップやコンサートを開催。（12/10～12/25）</p> <p>○ミュージアムバレンタイン バレンタインの時期に、イルミネーションやコンサートをフラワーイベントを開催（1/28～2/14）</p>
令和5年度	事業費（千円）		
	予算	決算	
	-	-	<p>○ミュージアムコンサート 地域で活動する演奏家を支援するとともに、優れた演奏を気軽に楽しめる機会を市民に提供するコンサートを開催。コンサートチケットで展覧会入館料が無料。 4/26、8/12、10/4、12/9開催。</p> <p>○ミュージアム ハロウィン 親子で夜の石橋文化センターを楽しむ新規事業として、仮装イベント、マルシェ、ライトアップ等を開催。（10/7～10/31）</p> <p>○石橋文化センターアートフェスティバル 地元の子どもやアーティスト、学生が石橋文化センターの空間や自然、歴史や文化に着想を得て作品を制作。バラや紅葉が彩る秋の園内で展示しライトアップを行った。（11/3～11/19）</p> <p>○ミュージアム クリスマス クリスマスの時期に、園内をライトアップ。クリスマスにちなんだワークショップやコンサートを開催。（12/15～12/24）</p> <p>○ミュージアムバレンタイン バレンタインの時期に、イルミネーションやコンサートをフラワーイベントを開催。（2/1～2/14予定）</p>
課題等	効果的な事業の広報など		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	美術館事業（寄付やボランティア制度など）	担当課	文化振興課
計画の柱	（3）文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	② 魅力あふれる美術館づくり		
取組み項目	I.市民とともに創り育てる仕組みづくり		
事業の目的・概要	<p>【目的】 美術館の運営が、平成28年10月に（公財）石橋財団から市へ移行したことに伴い、新たな美術館としてのビジョン・コンセプトに基づく円滑な管理体制を構築し、石橋文化センター全体のミュージアム化などにより、市民により親しんでもらえる美術館として運営管理していく。</p> <p>【概要】 市民の美術館への関心を高める取組みを進めるとともに、ギャラリートークやワークショップなどの補助をするボランティアの育成・支援や寄付制度の活用など、さまざまな場面で、市民の協力や支援を得ながら活動することで、市民に「自分たちの美術館」として親しまれる美術館を目指す。</p>		
令和4年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	-	-	<p>○美術館ボランティア（35人）（令和5年3/31時点） 学校団体受け入れ時などの補助 ※コロナの影響によりボランティア研修は、対面とオンラインの同時実施方式で開催</p> <p>○友の会会員制度（406人 うちミュージアム会員328人、スタンダード会員78人）（令和5年3/31時点）</p> <p>○企業協賛制度（50件 うちスペシャルパートナー（BS）1件、オフィシャルパートナー5件含む）（令和5年3/31時点）</p> <p>○寄附制度（2件）（令和5年3/31時点） その他募金あり</p>
令和5年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	
	-	-	<p>○美術館ボランティア（27人）（令和5年12月時点） ギャラリートーク、学校団体受け入れ時などの補助、講座、ワークショップの補助</p> <p>○友の会会員制度（467人 うちミュージアム会員370人、スタンダード会員97人）（令和5年12月時点）</p> <p>○企業協賛制度（51件 うちスペシャルパートナー（BS）1件、オフィシャルパートナー5件含む）（令和5年12月時点）</p> <p>○寄附制度（5件）（令和5年12月時点）、その他募金あり</p>
課題等	協賛・寄附制度の効果的なPR		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	そよ風ホール活用事業	担当課	文化振興課 田主丸総合支所文化スポーツ課
計画の柱	(3) 文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	③ 各文化施設の強みを活かした効果的な事業の展開		
取組み項目	ウ. 田主丸複合文化施設 [そよ風ホール] 文化ホール		
事業の目的・概要	<p>【施設について】 田主丸複合文化施設（「そよ風ホール」）は、文化芸術の振興及び生涯学習の振興を図り、文化芸術の振興及び社会福祉の向上に寄与することを目的として設置された、500席を有する文化ホールと図書館等を備えた複合施設である。市が直接管理運営を行っている。</p> <p>【概要】 市民が「そよ風ホール」を通じて優れた文化に広く親しめる事業の企画及び運営を進め、市民文化の高揚と文化活動の推進を図ることを目的に、地域の文化関係者等で組織された「そよ風ホール企画運営事業実行委員会」に対し、経費の一部を補助する。</p>		
令和4年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	6,298	5,035	<p>【招聘事業】 会場：文化ホール</p> <p>①そよ風寄席（古典芸能）10/1 ②ケロボンズファミリーコンサート（子ども・ファミリー向け）10/23 ③ダブルエレクトーンコンサート（クラシック以外のジャンル）11/19 ④安武玄晃クリスマススペシャルコンサート（クラシック以外のジャンル）12/4</p> <p>【普及・参加型事業】 会場：文化ホール 地元で活躍するアーティストを招いたミニコンサートやチャリティのため映画（ひまわり）を入場無料にて実施。</p> <p>①サマーコンサート（6/5クラシック） ②オータムコンサート（9/4クラシック） ③そよ風シネマ（11/19映画上映）</p> <p>【展示事業】 会場：市民ギャラリー</p> <p>①絵画展（8月） ②写真展（11月、1月、3月） ③書道展（8月）</p>
令和5年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	
	5,000	900	<p>※7月の豪雨被災の影響により、そよ風ホールは当面の間休館となり、予定していた事業はほぼ中止となった。</p> <p>【招聘事業】 会場：文化ホール</p> <p>①九響メンバーによるクラシックコンサート（クラシック）→中止 ②長靴をはいた猫（劇：子ども・ファミリー向け）→中止 ③ステージ事業（講演会）→中止</p> <p>【普及・参加型事業】 会場：文化ホール 地元で活躍するアーティストを招き、ミニコンサート（サマーコンサート、ウィンターコンサート、スプリングコンサート）やオータム映画上映会を入場無料にて実施。 →サマーコンサートのみ実施（6/5）。以後のミニコンサート・映画上映会は中止。</p> <p>【展示事業】 会場：市民ギャラリー</p> <p>①絵画展（4月、8月）→4月のみ実施 ②写真展（5月、7月、9月、11月、1月、3月）→5月のみ実施 ③書道展（8月）→中止</p>
課題等	<p>・令和5年7月の豪雨被災の影響により、そよ風ホールを使った事業が実施できない状況となっており、地域の市民の鑑賞機会の確保のため、ホール外でのアウトリーチなどを検討していく必要がある。</p> <p>・そよ風ホールについては、今後の調査で復旧の方針を検討していく。</p>		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	インガットホール活用事業	担当課	文化振興課 城島総合支所文化スポーツ課
計画の柱	(3) 文化施設の特性を活かした文化芸術の創造と活動の推進		
取組みの内容	③ 各文化施設の強みを活かした効果的な事業の展開		
取組み項目	工.城島総合文化センター インガットホール		
事業の目的・概要	<p>【施設について】 城島総合文化センターは、文化芸術及び生涯学習の振興を図り、文化芸術の振興及び社会福祉の向上に寄与することを目的として設置された施設で、約600席を有するインガットホールや図書館、研修室、和室等を備えた複合施設である。市が直接管理運営を行っている。</p> <p>【概要】 文化芸術による市民の融和を図り、市民の文化芸術活動の更なる促進と心豊かな地域の発展に寄与することを目的として、地域の文化関係者等で組織された「インガットホール活用実行委員会」に対し、その経費の一部を補助している。</p>		
令和4年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	6,076	5,211	<p>①市民との協同事業 筑後酒造り唄・そろばん踊り唄コンクール(5/22 インガットホール)</p> <p>②鑑賞事業 ピアノコンサート(10/22 インガットホール) 吉俣良コンサート(12/17 インガットホール) 九州交響楽団コンサート(1/22 インガットホール)</p> <p>③市民活動支援事業 Jフェス第9回城島音楽祭(9/24 インガットホール) 創作劇ゆう太のぼうけん(11/27 インガットホール)</p> <p>④普及事業 地域の小学校でのワークショップ(10/18～10/21 西部地域4校) 地域の小学校での民謡にトライ(1/12,19,26 西部地域6校) 出張音楽タイム ※中止</p>
令和5年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	3,500		<p>①市民との協同事業 筑後酒造り唄・そろばん踊り唄コンクール(5/21 三潯生涯学習センター)</p> <p>②鑑賞事業 ピアノコンサート(10/22 インガットホール)</p> <p>③市民活動支援事業 Jフェス第10回城島音楽祭(8/27 インガットホール) こどもオペラ「3匹のこぶた」(11/18 インガットホール) こどもフェスティバル 創作劇フィルタンス(12/3 インガットホール)</p> <p>④普及事業 地域の小学校でのワークショップ(公共ホール音楽活性化支援事業)(10/17～20 西部地域5小学校) 地域の小学校での民謡にトライ(予定：1/15、1/29、1/31) 出張音楽タイム ※中止</p> <p>⑤その他 ロビーコンサート 絵本とオカリナの音楽会(9/5 インガットホールロビー)</p>
課題等	<p>・全市民を対象としつつも、立地等の事情もあり、結果的に、周辺地域の住民の参加が中心となっている。</p> <p>・入場料を安価に設定することにより、久留米シティプラザや石橋文化ホール等で開催される同事業との間に料金面での不均衡が生じている。</p> <p>・市内他施設(久留米シティプラザ・石橋文化ホール・そよ風ホール等)と連携した利用促進。</p>		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	芸術家等に関する情報収集	担当課	文化振興課
計画の柱	(4) 効果的かつ積極的な情報の収集と発信		
取組みの内容	① 芸術家などに関するデータの収集・整理		
取組み項目	ア. 久留米市ゆかりの芸術家等に関する情報の収集		
事業の目的 ・概要	<p>【目的】 インターネット等を活用した多様な手法により、久留米市の文化芸術に関する先達を含め、市内の芸術家や文化芸術団体など久留米市にゆかりのある人材の情報収集に努める。</p> <p>【概要】 (1) 芸術家等に関する情報収集 様々な専門機関等を活用した文化芸術に関する最新情報の入手や、インターネット等の活用など、多用な手法で、久留米市にゆかりのある人材情報等の収集に努め、その活用方法についても検討を行う。</p> <p>(2) 音楽によるまちづくり推進事業におけるミュージシャン情報の活用 「くるめ街かど音楽祭」や「くるめライブチャレンジ」等に出演した一部のミュージシャンについては、育成支援という視点で、市内で開催されるイベント等において活動の機会を提供している。 ※平成29年度より開始</p>		
令和4年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な文化芸術に関する情報の入手 ・インターネット等の活用 など、多用な手法で、久留米市にゆかりのある人材情報等の収集に努める。
令和5年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な文化芸術に関する情報の入手 ・インターネット等の活用 など、多用な手法で、久留米市にゆかりのある人材情報等の収集に努める。
課題等	<p>・現在のアーティストに関する情報は、個人のHPやSNSなど多様な媒体から発信されており、その中から久留米市にゆかりのある人材の情報を検索・把握し、更新していく難しさがある。</p>		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	久留米シティプラザ 普及啓発事業	担当課	久留米シティプラザ
計画の柱	(4) 効果的かつ積極的な情報の収集と発信		
取組みの内容	② 文化芸術をより身近に感じてもらうための取組みの推進		
取組み項目	Ⅰ. 文化芸術普及活動の実施		
事業の目的 ・概要	<p>【目的】 普段、なかなか劇場に足を運ぶきっかけがない方や、何らかの事情で劇場に足を運ぶことが困難な方、そして未来を担う子どもたちに、芸術や芸術家とふれあう機会を目的とする。特に、子どもや高齢者、障害を持った方に向けたワークショップや鑑賞事業を展開していく。</p> <p>【概要】 (1)派遣型アウトリーチ事業 ・病院に入院していたり、高齢者施設に入所していたり、普段劇場に足を運ぶ環境にない方に文化芸術や芸術家と触れ合う機会を提供する。 ・公演だけではなく、様々な体験などを通して、対象者が文化芸術への興味・関心を高めることを目指す。 (2)鑑賞・体験サポート事業 ・普段、年齢制限があってなかなかコンサートに行けない未就学児やその家族にも、文化芸術に触れていただくための鑑賞事業やワークショップを実施する。</p> <p>※下記、予算決算欄は、プラザ自主事業に含む。</p>		
令和4年度	事業費 (千円)		実績
	予算	決算	
	—	—	今年度から新たに次代を担う人材育成を目的としたユースプログラムを展開。また、3月には、初の取組である観劇サポート付き公演を実施。音声ガイド・字幕ガイドを15名の方が利用された。 ・「知る/みる/考える 私たちの劇場シリーズ」 ・ユースプログラム「新しい演劇鑑賞教室」 ・観劇サポート付き公演の実施（3月） ・アウトリーチ事業（落語）
令和5年度	事業費 (千円)		計画
	予算	決算	
	—	—	昨年度に引き続き、次世代を担う人材育成を目的とした教育普及プログラムを展開。若年層が劇場で演劇に触れ、アーティストや参加者同士で対話を重ねる新たな取組を実施する。また、観劇サポートを検討し、多様な人が文化芸術に触れる機会を設ける。 アウトリーチ事業については、外国人居住者が市内で最も多い北野町において、「ダンス」と「うた」を中心とした普及事業に取り組む。 ・「知る/みる/考える 私たちの劇場シリーズ」 ・ユースプログラム「新しい演劇鑑賞教室」 ・観劇サポートの実施 ・アウトリーチ事業（多文化共生）
課題等	・観劇サポートのうち、字幕ガイド、音声ガイドについては、費用面に課題があり、継続して実施するためには、工夫が必要である。		

久留米市文化芸術振興基本計画事業説明資料

事業名	様々な媒体を活用した情報発信	担当課	関係各課
計画の柱	(4) 効果的かつ積極的な情報の収集と発信		
取組みの内容	③ 様々な媒体を活用した戦略的な情報の発信		
取組み項目	ア. 広報紙、ケーブルTV、FM放送等による発信 イ. ホームページの充実、SNS等による発信		
事業の目的・概要	<p>【目的・概要】</p> <p>久留米シティプラザをはじめ、市内で行われる上質で多彩な催しについて、特に市民や福岡都市圏、近隣市町等に向けて関心を高めるような広報の充実を念頭に、新聞や広報誌といった紙媒体やTV、ラジオ、ホームページ、SNSなど、様々な情報媒体や機能を幅広く活用し、最も効果的な方法で、迅速に情報を発信する。</p> <p>① 広報物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広報くるめ（毎月1回発行） ・ 石橋文化センター広報紙「みどりのリズム」（隔月発行） ・ 久留米シティプラザ情報誌（隔月発行） <p>② ドリームスFM</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コミュニティFMラジオの朝・夕方の番組で、文化情報を発信するコーナーを設け、市主催の文化事業や後援している文化活動を紹介し、情報発信している。（週3～4日放送） ・ ドリームスFMプラザ情報番組（毎週火曜放送） <p>③ その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ケーブルTVや福岡市や北九州市に拠点を置くラジオ局の番組、（公財）久留米観光コンベンション国際交流協会、無料情報誌などで、市主催の文化事業を紹介する。（随時） ・ ホームページの充実やSNSなど多様な媒体を活用した情報発信を行う。 		
令和4年度	事業費（千円）		実績
	予算	決算	
	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ 久留米市HPのイベント情報欄や市公式LINE、ドリームスFMラジオ、くるおんホームページのFacebook、市美術館のFacebook等において、市主催の文化事業や後援する文化芸術活動、事業等を紹介した。 ・ Facebook、LINE、YouTube、Instagramなど、多様なSNS媒体を活用した情報発信を行った。 ・ 石橋文化センター公式YouTubeチャンネルにおいて、邦楽演奏会（2/26開催）のアーカイブ配信を行うなど、イベント開催後の情報発信にも取り組んだ。
令和5年度	事業費（千円）		計画
	予算	決算	
	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ 久留米市HPのイベント情報欄や市公式LINE、ドリームスFMラジオ、くるおんホームページのFacebook、市美術館のFacebook等において、市主催の文化事業や後援する文化芸術活動、事業等を紹介する。 ・ Facebook、LINE、YouTube、Instagramなど、多様なSNS媒体を活用した情報発信を行う。
課題等	幅広い世代へ情報を届けるための、SNSなど多様な媒体の活用		